

校舎について

横浜市立学校最大、総床面積 25,505 m²を誇る校舎は、直線的なデザインの学習棟とアーチ型の屋根が特徴的な交流棟から構成されています。PFI 事業により民間企業のアイデアを活用して設計・建築を行い、2008 年 12 月に竣工しました。明るく広い教室、様々な分野の実験室・実習室、天体観測ドームなどの充実した施設や 300 台以上の PC や電子顕微鏡などの実験機器が配置されており、「サイエンス」を学ぶのに適した学習環境を提供しています。

学習棟		交流棟	
天体観測ドーム	屋上		
普通教室	5F		
普通教室	4F		
実験室・普通教室	3F	プール・宿泊室	
情報教室・特別教室	2F	アリーナ	
実験室・特別教室	1F	ホール・カフェテリアなど	

学習棟

学習棟の 1～3 階には、先端科学技術の実験室や情報教室、プレゼンテーションスタジオなどの特別教室があります。普通教室は 3～5 階にあります。



[2 階] プレゼンテーションスタジオ 約 1.5 教室分の広い空間に、テーブルチェア、作業デスク、展示ボードが自由にレイアウトされた多目的学習空間です。AV 機器、プロジェクターなどの機器もあります。
プログラミング実習室・情報教室・マルチメディア実習室 パソコンや AV 機器など充実した設備によって実習が行われます。

未来を広げる学習棟 世界とつながる交流棟



交流棟

- ① 1 階には 370 人収容のホール、柔道場・剣道場、カフェテリア（食堂）があります。
- ② 2 階にはバスケットボール、バドミントン、卓球、バレーボールなどを行うことができ、椅子を使えば学校行事などに利用できるアリーナがあります。
- ③ 3 階には屋外プールや宿泊できる施設があります。



ニュートンのリンゴ

ニュートンが「万有引力の法則」を発見するきっかけとなった「リンゴの木」のクローンがあります。

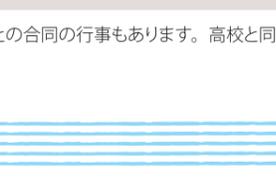
メンデルのブドウ

メンデルの法則で有名なメンデルが植えた「ブドウの木」のクローンがあります。

「Nature」寄贈の月桂樹

イギリスの週刊科学誌「Nature」から寄贈された月桂樹です。「Nature」に掲載された写真。(2009.7.9)

年間行事予定

4月	入学式 新入生オリエンテーション	
	中1 宿泊研修	
	中2 宮古島研修	
6月	体育祭	
7月	1学期期末テスト 三者面談	
9月	蒼煌祭（文化祭）	
10月	中2 東京散策	
	中3 研修旅行	
12月	2学期期末テスト 三者面談	
3月	学年末テスト 卒業式 修了式	

以上は予定です。また、校外活動の時期は今後、変更する可能性があります。高校生との合同の行事もあります。高校と同じ3学期制です。

制服・校章

制服のポイント

高校生にアンケートを採り、中学生のネクタイとリボンの色を決めました。デザインは中高一緒です。

冬服



夏服



校章の由来



高校の校章を基調に、Junior High Schoolの「J」を加え、高校との融合を表現しました。

スーパーアドバイザー・科学技術顧問について

横浜サイエンスフロンティア高等学校では、先端科学研究分野における優れた功績を有する方を、スーパーアドバイザーとしてお迎えし、教育方法などについて指導助言をいただいています。また、先端科学技術各分野の研究機関や大学、企業の研究者等の方々に科学技術顧問をお願いし、さまざまな形で協力をいただいています。

サイエンスを学び、良き友と人生の基礎を作ろう

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 常任スーパーアドバイザー 浅島 誠

サイエンスを学ぶことは今まで知らなかった知識や智恵を知ることであり、知識と智恵のサイクルを探究心をもって廻し、各自の中に蓄えてゆくと今まで見えなかった未知の新しい世界が見えてくる。学んで知ることは人生を楽しく豊かにしてくれます。知らないということは自分の世界を小さくしていることで、これからは色々なことを学び、知識と智恵を得てゆくことは自分を磨き高めていくことになり、今後の人生でとても大切です。若い時に学んだり、覚えたりしたことは、これからの長い人生で大変に役に立ち、やがて大きな花を咲かせる基礎・基盤になります。

「サイエンスの考え方」はまず、物事をよく観察し、それを正確に理解し、考えて判断することで、その過程でみられる様々な事象の原因と結果を正しく結びつけて理解することです。この理解し論理的に考える力は一朝一夕でできるものではなく、日頃の努力と継続が必要です。希望を持って基礎学力をつけ、努力することは尊いことです。

また、皆さんはそれぞれかけがえのない生徒ですが、また仲間も大変に重要です。自分より優れた人がいたらそれを感じることも、皆さんで仲良く成長することもとても大切です。良き仲間と一緒に成長できることは人生の宝でもあります。これにはお互いが信頼と思いやり心を持つことで、これからの人生でも必要です。

横浜サイエンスフロンティア高校附属中学校は少人数制で、生徒を大切にしたい素晴らしい環境の中にあります。その中で、希望を持ちながら幅広く基礎的な学力を身に付け、心身を鍛え、努力して自分を育て、これからの人生の基礎をしっかりと作りましょう。

校歌「知の開拓者」

作詞・作曲 オオゼキタク

川面に煌めくは黄金の朝陽
集いし我ら知の開拓者
創る喜び 究める勇氣
見つめるまなざしは深く

紺碧の潮風 翼に受けて
空翔けてゆく 鷗のように
遙か星々 母なる大地
芽生えたいのち美しく

この横浜で共に培い
世界の扉 拓いてゆく

この横浜に 希望の光
世界に向けて 漲る時

友よ 磨き高めよう
涯なき未来を 輝かせるために

友よ 鍛え続けよう
若き情熱の 滾るがままに友よ 愛し育もう
この地球の未来を輝かせるために

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校の 入学者の募集及び決定について

応募できる者

小学校等を卒業又は修了する見込みの者で志願者本人及びその保護者（親権者又は未成年後見人をいう。）が横浜市内に住所を有する者とする。

募集人員 80名（男女 各40名）

出 願 令和2年1月7日（火）～令和2年1月9日（木）まで郵送により受付（9日の消印有効）

出願に要する書類

1. 入学願書
2. 在籍学校長の作成した調査書

入学選考手数料

2,200円

適性検査実施日

令和2年2月3日（月）

検査内容 適性検査Ⅰ 45分

文章・図・表やデータなど与えられた資料を的確に読み解き、課題をとらえて適切に表現する力をみる。

適性検査Ⅱ 45分

与えられた情報を科学的・数理的にとらえ、分析力や思考力、判断力などを生かして課題を解決する力をみる。

持ち物 受検票 鉛筆 消しゴム ※会場によって上履きが必要となります。

合格発表 令和2年2月10日（月）

校内に掲示及び本校のホームページに掲載

※詳しくは本校ホームページ掲載の「横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校の入学者の募集及び決定に関する要項」をご覧ください。

入学年度必要諸経費（令和元年度の例）

制服費用：約30,000円～40,000円

体育着等：体育着・体育館履等 約25,000円

学校納入金（PTA会費や学年諸経費等）：約35,000円

副教材費：約30,000円

1年校外宿泊研修費：約17,000円

※授業料はありません。

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校に関するQ&A

Q1 どんな部活動がありますか。

A1 令和元年度は16の部活動が発足し、高校生と一緒に活動しています。

Q2 高校生と一緒に活動することはありますか。

A2 同じ校舎で、また同じ時間割で生活します。行事や一部の部活動など、高校生と一緒に活動することで、よりよい関係づくりを進めます。

Q3 一般の中学校と学習内容は異なりますか。

A3 理数科高校の附属中学校ですが、学習する教科は一般の中学校と同じです。しかし、それぞれの教科では本校の教育理念にそって内容を深く掘り下げた学習を進めます。

Q4 自転車通学はできますか。

A4 附属中学校では、自転車通学は認めていません。徒歩または公共交通機関で通学してください。

Q5 給食はありますか。

A5 給食はありません。原則としてお弁当ですが、生活に慣れてきた段階でカフェテリアの利用も可能です。

Q6 附属中学校から、横浜サイエンスフロンティア高等学校へ進学するときには試験がありますか。

A6 中高一貫教育校であることから入学者選抜は行いません。

Q7 令和元年度からの学級数はどうなりますか。

A7 令和元年度より、中学校は各学年2クラスずつの計6クラスになりました。高校は、令和2年度より4クラスの募集となり、附属中学から進学した2クラスと融合し、1学年6クラスで共に学びます。

年度		令和元年	2	3	4	5
高等学校	3年	6	6	6	6	6
	2年	6	6	6	6	6
	1年	6	4+2	4+2	4+2	4+2
附属中学校	3年	2	2	2	2	2
	2年	2	2	2	2	2
	1年	2	2	2	2	2
総学級数		24	24	24	24	24

